

# 共生の実相

## 命の線引きを問う

地下へと続く白壁の狭い階段の先に、ガス室があった。ドイツ中西部・ハダマー。「価値なき生命の抹殺」を掲げたナチス・ドイツの障害者「安楽死」政策(T4作戦)の施設跡が現存し、記念館になっている。昨年、日本障害者協議会の藤井克徳代表(70)と一緒に訪れた。

「緊張します。吸い込まれそうになる」。目が見えない藤井さんへ続く、階段を下りる。左手のガス室はタイル張りの12平方メートルの空間。当時、一度に50人が「シャワーを浴びる」と詰め込まれた。外から鍵がかげられ、医師が一酸化炭素(CO)のガス栓をひねった。記念館の教育担当レギーネ・ガブリエルさん(63)は「優生思想の中で育った医師らは『価値なき命』という考えに疑問を抱かなかつた」と語る。

藤井さんは言う。「裸にされ、ぎゅうぎゅう詰め。ガスによって体が動かない中、だまされたと感じたはず。そして『私で最後にして』と心の中で言ったと思う。人間の希望をつぶす残酷さが凝縮された空間です」

# 命の価値生産性で計られ

ナチスは1939年以降、T4作戦に着手し、障害者をガス室などで殺害した。被害者は20万人以上とも。ハダマーのガス室には半年強の間に約1万人が送られた。

藤井さんがガス室を最初に訪問したのは2015年。翌16年7月、相模原市の知的障害者施設「津久井やまゆり

園」で入所者19人が殺害される事件が起きた。殺人罪などで起訴された植松聖被告(29)は「意思疎通のできない障害者の安楽死」を動機に挙げた。

激しい経済情勢の中、「社会の重荷」とみなした人々を狙ったナチス。植松被告もまた社会保障費の削減を目的に彼の目から見て「役に立たない人」を標的にした。藤井さんは「どちらも

加工がされた。そのツルツルとした床は今も鈍い光を放つ。叔母を亡くしたギーゼラ・プッシュマンさん(66)は「殺人が産業化された」と指摘する。

「現代は振り子が戻り、さらに生産性で計られる社会だ」。藤井さんは事件の教訓を探るために植松被告と対話する必要を感じていた。

障害者「安楽死」政策 ナチス・ドイツは1939年にこの政策に着手し、翌40年から各地の施設で障害者の虐殺を開始。死者は公式な資料に残るだけで7万人、実際には20万人以上とされる。ベルリンに置かれた本部の住所の文字を取り「T4作戦」と呼ばれた。優生思想に基づき精神科医を中心とした医師が主導。一部は戦後ニルンベルク医師裁判で裁かれた。

経済性、効率性、生産性といった社会にとつての価値を基準とした」と語る。

当時、被害者はバスで移送され、診察室を経て、流れ作業のような手順でガス室へ。食事やトイレの手間は省かれ、全てが1日で終わる。死亡後は同じ地下の焼却炉に。遺体を引きずりやすいよう通路には傾斜があり、特殊な

植松被告は、アクリル板の向こうで手の指先をピンと伸ばし、深く一礼した。今年2月、横浜拘置支所で面会した藤井さんと同行取材した。「今にして事件の日をどう思っているのか」。

一瞬黙った植松被告は「ああ」と思い出したように言い「激しい一日だった」と続けた。細くうつろな目に一瞬、生気が宿った。

## ① ナチスの「安楽死」政策



ドイツ・ハダマーにある障害者「安楽死」施設跡で、遺体を引きずりやすいように加工された通路に触れる藤井克徳さん=2018年11月

相模原の障害者施設殺傷事件から7月26日で3年。重い障害がある人に対する「命の線引き」は特異な考えと片づけられるのか。歴史を直視し、被告と対峙する障害者。グローバルな医療界の動きに絶望感を募らせつつも、日々の暮らしの豊かさを模索する家族ら。「障害者殺しの思想」にあらがう人たちを追った。17回掲載予定です

### 社会プラス

### 暮らしのできごと もっと詳しく

残る。「約1時間つきまと

「聞き取ることを不可能または困難ならしめるような所為」と示した。警察官職とは言い難い」と疑問視。道警裏金問題を告発した元道

相模原事  
障害者差  
26日、

相模原市の  
設で19人が刺  
が負傷した事  
なる26日、障  
生思想につい  
会が京都市下  
まち交流館三  
る。

元相模原市  
社論が専門の  
園調布学園大  
原事件につい  
と題して講演  
病院で働くケ  
山本太郎  
山田太郎  
静岡・草

静岡県富士  
委員会は23日  
の参院選比例  
党の山田太郎  
いわ新選組代  
氏の票に誤つ  
たと発表した  
453票、山  
結果を出して  
氏938票、  
票と訂正した  
候補者の当落  
としている。

# 共生の実相

## 命の線引きを問う

「礼儀正しい子だったけど、ねえ...」。

相模原の障害者施設殺傷事件で起訴された植松聖被告(29)について、近所の住民はため息を漏らす。「あの『さとくん』がね。今でも信じられないよ。現場に近い自宅は事件後、空き家の状態で両親の姿も見かけないという。」

今年2〜4月、被告に3回接見した日本障害者協議会の藤井克徳代表(70)に同行取材した。「よろしくお願います」とあいさつし、人の目を見て話す姿は今でも「さとくん」と呼ぶ住民の言葉通りに思える。

だが事件に関する話で印象が一変した。狙ったのは身体、視覚、聴覚の障害者ではなく「意思疎通ができない人」と強調。事件後「心失者」という呼び名を自ら考案したという。長く接見を続ける月刊誌「創」の篠田博之編集長(67)は「事件前からの深い考え」といふより、接見者による自説を繰り返した

# 弱者の差別後付けの論理

から主張を整理し、論理を組み立てたようだ」と指摘する。

目が見えない藤井さんは教育現場や作業所で、自ら障害者支援に取り組んできた。その経験から、重度の障害がある知人について語り「言葉はなくても心はある」と論じた。だが、被告は

「迷惑。支援を受けながら『幸せ』と言われても困ります」と聞き入れない。3月の接見。「どんな考えでも、人の命を奪うことは許されないと語り掛けた藤井さんに、被告は『人ではないの』では何なのかとの問いには『動物以下』。そして記者の目をじっと見つめ『当然です』という風にうなずいた。ナチス・ドイツの障害者『安楽死』政策の現場となったガス室の光景が不意に脳裏をよぎり背筋が凍った。」

一度だけ、被告が体を揺らして笑ったことがある。パーティーでパンダの着ぐるみを着た時の話。人気者になっ

たが、脱いだ瞬間に一転し「(場が)しらけちゃった」。被告は自嘲的に笑った後、急に真顔になり、続けた。「恐ろしかった。やはり見た目が大事です」

医療脱毛、整形、入れ墨...。自分なりの美に執着する一方、弱い者への差別心を募らせたのだろうか。

藤井さんは「『社会防衛のために社会保障費を減額せよ』との主張だが、言葉数も少なく、話は深まらない。正直拍子抜けした。だが、まだ何か底が知れない感じもする」と印象を語る。引き続き対話を求めているが、4月以降は手紙に返信が来なくなった。

藤井さんは、来年1月に始まる公判が、成育歴などを含め、事件に至った被告の個別要因を説明する場となるよう期待する。一方で「事件に影響した社会的な要因、背景とは何か」という問いは発生からの3年、深まらなかつたと感じるという。「殺されたのが障害者でなかったら、こんなに早く風化したのだろうか」

## ② 相模原障害者施設殺傷



植松聖被告との面会を終えた藤井克徳さん(右)と篠田博之さん(左)2月、横浜市港南区の横浜拘置支所前



相模原障害者施設殺傷事件 2016年7月26日未明、知的障害者施設「津久井やまゆり園」で入所者の男女19人が刃物で刺され死亡、職員2人を含む26人が重軽傷を負った。殺人罪などで起訴された元職員植松聖被告(29)の裁判員裁判初公判は来年1月8日に開かれ、3月末までに判決に至る見通し。事件現場の居住棟は建て替え工事が進み、21年度中に新施設が開設される予定。

### 社会プラス

暮らしのたびたびと もっと詳しく

# 福島第2廃炉 正式表明



福島第2原発 福島県 福島市 福島県 福島市に立地する東京電力の原発。炉心溶融事故を起こした福島第1原発の南約12kmにある。第1原発と同じ沸騰水型軽水炉(BWR)が4基で、いずれも出力は110万kw。1982〜87年に順次営業運転を始めた。東日本大震災の発生時は4基とも運転中で、うち3基が一時的に冷却機能を失ったが、外部電源が残ったことで冷却に成功し、炉心溶融は免れた。地元が再稼働に強く反対し、東電は昨年6月、全基廃炉にする意向を表明した。

東レ元労働 石綿訴訟 大阪地裁 大阪市の大津市、アスベスト、吸い、石綿肺、働者の男性がを求めた訴訟、地裁で和解が6、が和解金約6、払う内容。

大阪アスベ、よると、男性90代で、東レ67〜82年、一った作業に従事と診断された。分な対策を怠て、今年2月、提訴していた。石綿被害をの責任を認め、の泉南アスベ、高裁判決以降、期などの条件、解にに応じてい

第2原発の、原発と同じ工、間の原発では、1原発と第2、14基の廃炉が、子力発電東海、中部電力

# 共生の実相

## 命の線引きを問う

青年の葬儀は、病院の霊安室で営まれた。日本障害者協議会の藤井克徳代表(70)が精神障害者の作業所を立ち上げて間もない、20代の頃。その青年は調子を崩して作業所に来られなくなり、自死した。母親は「地元ではこの子はいないことになっている。家で葬儀はできない」と言った。

参列者は数人。火葬場への搬送も靈きゆう車でなく、遺体搬送車だった。藤井さんは後に、この時の心境を歌に詠んだ。〈出棺を 見送る人の 影まばら 死してほどこじ 差別の結び〉それから半世紀近く。藤井さんは「差別の結びは一層強固になっているのか」と問う。相模原の障害者施設殺傷事件で、死者19人は「家族の意向」で匿名のまま。「匿名は不自然だが、家族を責めるのではなく、そうせざるを得ない背景を同時に捉える必要がある」と

障害基礎年金の水準の低さと扶養義務など家族責任の重さ。それ故に本人

# 政治・行政の責務どこへ

の我慢、家族の負担で成り立つ地域生活。藤井さんは「事件を機に障害者問題の本質を問うことが真の追悼になる」と語る。相模原事件だけでなく、障害を理由に苦しみの中で絶たれた命に心を寄せるよう呼び掛ける。

人影のまばらな法廷。手錠をされた同年代の母親の姿に胸が詰まり、トイシに駆け込んで涙を流した。埼玉県川

### ③ 障害の自己責任化



相模原の障害者施設殺傷事件の現場を訪問した写真を示して講演する藤井克徳さん(6月、東京都千代田区)

口市の新井たかねさん(73)は十数年前、無理心中しようとする知的障害がある10歳の息子を殺害した母親の公判を傍聴した。面識はないが、近所の住民で人ごととは思えなかった。

新井さんの長女育代さん(47)は重症心身障害がある。言葉はなく、自ら動くことも困難だ。「娘は不幸なので？」。乳児期、そう考えたこともあった。「発達は無限」という言葉に「うちの子は当てはまらない」と言い返したことも。「私の中にも優生思想はある」

それでも出会いに恵まれ、少しずつ乗り越えてきた。ある教師は「どんなに重度でも社会の役に立つ。周りの人



相模原事件の匿名問題 相模原の障害者施設殺傷事件で、神奈川県警は「遺族の強い要望」などを理由に被害者の名前を公表しなかった。横浜地検も起訴時に名前を明かさず、来年1月に始まる初公判でも匿名で審理される見通しだ。重大事件の場合、捜査機関は原則、実名を公表している。「障害者差別」「追悼ができない」といった批判が出ている。

に自分の生き方や社会の在り方を考えさせてくれる」と言ってくれた。後に社会福祉法人「みぬま福祉会」を立ち上げ、育代さんが現在暮らしている入所施設を一緒につくった。

自分が暮らしたいと思える、重度でも断らない施設という目標を新井さんは仲間と実現した。だが支援と暮らしの場がなければどうだったか。「命と尊厳を守るのは本来政治と行政の責務なのに、果たされているのか」

育代さんは、障害者自立支援法違反訴訟の原告になった。サービス利用を原則1割自己負担とした公益負担が「障害の自己責任化だ」として全国各地で提訴し和解。国が反省を表明、障害者運動の金字塔とも言われる。

だが2010年3月、育代さんの訴訟が和解した翌日の新聞を読み、新井さんの胸は痛んだ。笑顔の自分たちの記事のそばに同じ日に埼玉県内で起きた親子心中の記事を見つけた。「もう頑張れない」。報道にあった、障害のある子を殺害した母親が残したというメモ書きが今も頭を離れない。

## 社会プラス

### 暮らしのできごと もっと詳しく

# 「社会」の関心薄れた「8割

し、具体的な項目を挙げて複数回答で質問。「障害者団体などでは事件に

後の支援強化を打ち出した。これらの対策について「十分」「どちらかとい

えば不十分」と「不十分」

「職員教育の充実」(56%)、

### ■BMW、1万台リコール

BMW日本法人は25日、2000年9月から05年8月に生産された「BMW 525i」「BMW X

### ■囲碁の井山四冠結婚

囲碁の井山裕太四冠(30)一写真一が20日に25歳の一般女性と結婚したと、

保育園不新たに女

容疑

彦根市の保

無職木村有希を逮捕した。「と容疑を否認逮捕容疑は



# 共生の実相

## 命の線引きを問う

2017年の梅雨のある日。重度の知的障害と自閉症がある30代の男性が関東地方の総合病院に救急搬送され、その日のうちに亡くなった。母親の入院を機に居場所を失い、約1カ月間に9カ所のショートステイ(SS)施設をたらい回しにされていた。急病で倒れて意識を失い、帰らぬ人となった。

男性の支援者は「相当なストレスがかかった。本来はもっと生きられたはずだ」。急に入れるSS施設は少なく、行動障害があった男性は敬遠されがちだった。「自己責任」で家族が探し、送迎もしなくてはならない。支援者が奔走してようやく受け入れ先が見つかった。距離が遠く車で200分移動した日も。半分ほどは男性も同乗したという。

本来は家族の病気や外出の際に短期で使われるSS施設。国は連続30日までとしているが、福祉現場では行き場がないまま転々とせざるを得ない「口

# 家族任せ受け皿乏しく

「ロングシヨート」が問題化しつつあり、その期間が半年を超えるケースも珍しくないという。

男性の支援者は「入院先で息子の死を知った母は、たまらなかつたと思う。日本の福祉が家族任せで、公的資源が地域に乏しいから起きた悲劇だ。命が軽く扱われている」と憤る。

相模原の障害者施設殺傷事件から3



新井たかねさんと入所施設で暮らす娘の盲代さん(6月、埼玉真蓮田市)

## ④ 在宅介護と「老障」問題

年。重症心身障害者の娘がいる埼玉県川口市の新井たかねさん(73)は「地域で追い込まれている障害者と親の現状にも目を向けてほしい」と訴える。深刻なのは、ロングシヨートの背景にある「老障介護」の問題だという。

新井さんの紹介で、重度の知的障害のある実子が今春、地元・川口市の新たな施設に入所したという2人の友人に話を聞いた。

富田陽子さん(76)は20年前、1カ月ほど頭に刺すような痛みがあったが、娘の真由美さん(46)の介護を優先して我慢していた。限界に達し病院



老障介護 高齢化した親が、障害のある子どもの介護を続けている

状態。親が自分の親世代の介護も担う「ダブル」や、配偶者なども加わる「トリプル」の状態も起きている。「障害者の生活と権利を守る全国連絡協議会」(障全協)が2014・15年に行った介護者に関する調査では、50代の障害者を介護する人の平均年齢は74歳。4割以上が肩や腰の痛み、体の衰えや疲労を感じていると回答した。

に行く、医師から即日入院を命じられた。脳腫瘍だった。約40日に及ぶ入院期間中、誰が娘の世話をするのか。2日間の猶予をもらい、何とか親族に頼めたが「崖っぷちですよ。病気にもなれません」と振り返る。

福田光子さん(72)は自身の体調不良で長男政道さん(46)の入所を相談した約1年前、行政側の言葉に絶句した。「北海道なら空いてますが」。その場合、会いに行ける体力はもうない。生き別れか…。目の前が真っ暗になった。

埼玉県内の入所施設は待機待ちが1500人を超える。福田さんは「うちには近くに入所できたけど、もっと困っている人がいると思うと複雑です」と涙を流した。

新井さんが関わった障害者の在宅介護の状況に関する実態調査によると、「主たる介護者」の9割が母親。就労機会を奪われ、経済的困窮にも陥りがちだ。17年にロングシヨートの最中に死亡した男性の家族は、葬儀を出すことができなかったという。

## 社会プラス

暮らしのできごと もっと詳しく

# 5年 住民ら犠牲者に黙とう

に。初めて訪れた福岡県粕屋町の男性(32)は自閉症を理由に「生産性がないから」と解雇された経験があり、植松聖被告(29)の差別的な言葉が重なったという。初めて接見すると「遠いと

# 出し

桜井容疑者 たのは、桜井... 調べている。

■関空が基準 関西空港をアポートは26化センターが17、18年の計に届けた自を越える排水をいたと明らかを受けた社内府から今月5指導を受けた。回っており、「ないとしてい」関西エアに1で汚水処理となり海域へこの間、府に部の項目が基を海につながら、地面や植ていたという。

■受刑者に便 宮城県警はの罪で収容中、対し、生活面返りに現金計け取ったとして宮城刑務所(31)で宮城刑務所(31)を、贈賄の桜井景三容人を逮捕した。よると、いずる。県警、調べている。

# 共生の実相

## 命の線引きを問う

2016年7月26日朝。起き抜けにテレビをつけると、相模原の障害者施設殺傷事件が報じられていた。広島県呉市の児玉真美さん(62)は「絶叫しそうなほどの恐怖を感じた」。重症心身障害のある娘の海さん(31)が、無抵抗なまま何度も刺される様子が頭に浮かぶ。そして「ついに起きた」と思った。

フリーライターとして、十数年前から英語圏の障害分野の研究論文や報告書を追う中、懸念を深めていた。「世界は重い障害のある人にとって急速に恐ろしい場所になりつつある」

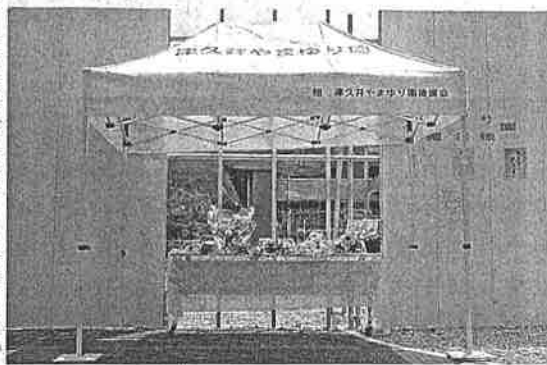
04年、米シアトルの病院で、重症心身障害のある6歳の女兒アシユリーに対し、親からの要望で子宮摘出、乳房切除、身長抑制が行われた。生理解・病気予防など「生活の質(QOL)改善」が理由とされた。

07年に世界的な論争が起きた。親と医療が結託して障害のある子に行った

# 「どうせ」価値観浸透に恐怖

医療介入。賛同者も得ていた。真美さんは「歯止めをかけなくては」という思いで調査を始め、ブログも開設。後に著書「アシユリー事件 メディカル・コントロールと新・優生思想の時代」にまとめた。

障害者を中心とする反対派が「尊厳を奪った」と主張したのに対し、賛成



月命日に献花台が設置された事件現場の津久井やまゆり園。6月26日、相模原市緑区

派には「重症児だから尊厳の問題ではない」との論調があった。尊厳は同列ではないのだ、という線引き。真美さんは、親や医師の発言の行間に「どうせ」という言葉が響くのを感じた。「どうせ重い障害があるから」と。

その言葉は、各国で合法化が進む「安楽死」問題でも響く。日本では「終末期」のイメージがあるが、最先端のオランダやベルギーでは知的障害、精神障害、発達障害のある人にも行われている。さらに、医療や司法が延命停止を決定する「無益な治療」論も進む。

英国では近年、重い障害のある乳幼児「安楽死」などの法制化。医師が致死薬の注射などを行う積極的安楽死や、医師が薬物の提供などにより患者の自殺に関わる医師はつじつと自殺がある。両方が合法化されているのはベルギー、オランダ、カナダなど。医師はつじつと自殺のみの合法化はスイスや米国の複数の州など。日本では認められていないが、延命治療を控えたり中止したりする「尊厳死」の法制化を目指す動きがある。

「安楽死」などの法制化。医師が致死薬の注射などを行う積極的安楽死や、医師が薬物の提供などにより患者の自殺に関わる医師はつじつと自殺がある。両方が合法化されているのはベルギー、オランダ、カナダなど。医師はつじつと自殺のみの合法化はスイスや米国の複数の州など。日本では認められていないが、延命治療を控えたり中止したりする「尊厳死」の法制化を目指す動きがある。

の生命維持が裁判所命令で中止され始めた。

「『QOLの低い生は生きるに値しない』という価値観が浸透しつつある」と言う。

日本はどうか。15年に出た日本病院会倫理委員会の「尊厳死」に関する文書。「経口摂取への回復もなく意思の疎通が取れない時」などに、医療チームが「苦痛を与えない最善の選択」を提案すると記した。そして「難しい問題で、今回は議論されなかった」として「神経難病」と「重症心身障害者」を挙げた。

「『今回は』ということはいずれされるのか」。真美さんは、じりじりと追い込まれるような恐怖を感じる。「命を線引きする時代の空気の中で、相模原の事件は『ついに』起きた」

ただでな東の広い範囲測された。

今回と同様もたらす地震びたび起きて7年7月16日の日本海、深起きたマグニ6・7の地震1ト内を地震結果、震源によりも北海道太平洋側で揺れた。最大震度面した北海道された。

横浜の国両陛下開天皇、皇后

「地球科学・シンク国際シ019」開会天皇陛下が英された。

# 安易な呼応代償重く

子世の予備(1)

子世の予備(2)

土は「外国人住民が増える中、

震源も三重揺れず  
先で震度4  
震域」現象

の仕組み(イメージ)



リモートセ宙から地球の観測する技術ムでは「地球滅災」をデーが行われる。陛下はあい

# 共生の実相

## 命の線引きを問う

2016年7月に発生した相模原の障害者施設殺傷事件を受けて、入所施設に対する批判が噴出した。1970年代に本格化した身体障害者を中心とする運動は「施設ではなく地域で」という目標を掲げ、今や国の目標にもなっている。

事件後、運動側からは被害者について「施設に入れられたことで殺された」とする声明も出された。重症心身障害がある長女が施設で暮らしているフリーライター児玉真美さん(62)は広島県呉市に、口をふさがれ、発言を封じられているような思いがしたという。「入所させ、殺した」。そう名指しされたと感じた家族もいる。

真美さんは障害者運動に敬意を持ち、目指すべき「地域移行」という方向にも賛同している。だが重症心身障害がある人の地域移行には専門的な医療が不可欠で、慎重さも必要だ。都市と地方の格差も大きい。医療に経営優先の傾向が強まる中、重症の人が受診

# 「入所させ、殺した」苦悩も

を拒否されたという声が周囲で増えている。真美さんは「地域の資源が整備ないままの地域移行は、家族依存を加速させ、命を脅かす危険が現に生じている」と言う。

そうした現実が「施設は悪」「今すぐ地域へ」という声にかき消されないか。「障害者、親という弱い者同士で



映画「道草」について対談する児玉真美さん(右)と穴戸大裕監督(6月、広島県尾道市)

## ⑥ 障害者と親、対立の行方

争わされ、公的責任が問われなくなる事態が心配です」

今年6月、広島県尾道市の映画館でドキュメンタリー映画「道草」が上映された。重度の知的障害のある人が、重度訪問介護という制度を使い、地域で介護者と自立生活を送る姿を追った作品だ。相模原の事件で一時心肺停止に陥った尾野一矢さん(46)が自立生活を模索する様子も描かれる。事件後の「希望」を探る映画として全国に上映が広がっている。

上映後、真美さんは穴戸大裕監督(37)と対談した。映画の中の豊かな生活に共感する一方、娘の海さん(31)を「入所施設に入れざるを得なかった

重度訪問介護 障害者福祉サービスのうち、重度の障害者で常時介護が必要な人に対し、居宅で入浴や排せつ、食事などの手伝いや、外出中の移動の介護を行う。身体障害者向けに始まったが、2014年に知的・精神障害者も対象になった。重度の障害のある人が、24時間など長時間利用することで、複数の介護者と共に地域での自立生活を送ることが可能となる。

罪悪感に触れた。「親としての私は、この映画に脅かされる」と本音を語った。そして地方の支援資源の少なさを指摘し、障害の程度による事情の違いがある、とも説明した。

映画のパンフレットには「施設に『入れてコロシタ』と名指された」と感じた家族の文章も掲載されている。穴戸さんは「親を責めたくない、自立生活があるよ、で終わらせたくない。じゃあ誰と一緒に暮らすのか。手を挙げる人が現れてほしい」と会場に呼び掛けた。

映画は暴れたり、大声を出したりしてしまふ当事者、苦悩する親や支援者の表情も映し出される。真美さんは「これさえあれば問題解決という描き方ではなく、悩みながら模索しているという問い掛けがある」と評価した。

対談後の夜の酒席。穴戸さんは「厳しい意見を言ってくれるからこそ一緒に話があった」と語った。相模原の事件から3年。異なる立場の者同士が互いの言葉に耳を傾ける場も開かれつつある。

### 社会プラス

#### 暮らしのできごと もっと詳しく

# 平均寿命 長寿更新

女とも死亡率が低下した。日本人の平均寿命は女性が1984年に80歳を超え、

製薬大手エーザイ(東京)を調べるため、報酬を払うは30日、てんかんの治療薬「形で健康な被験者を募集。

## エーザイ治験 健康男性死亡

### てんかん薬開発 因果関係を調査中

く受け止め、配慮し研究願っている。

■受信料未払 NHKがサイ NHKは30 あるのに受信 のは違法だと 公式サイトに 信料と公共放 解いたたくた 「明らかな違 いては、放置 厳しく対処し としている。 受信料を払 Hkを視聴で ル放送の実現 「NHKから が参院選で議 の誰かを念頭 はない」と説 ば受信契約は という発言が れるとして、「 てお知らせし 元カトウ、 大麻取締法違 罪に問われた N(カトウ、 パー田口淳之 気軽に七 催します。 して、9月 として懸

第411回 日時 9月 11時、11日



# 共生の実相

命の線引きを問う

児玉海さん(31)の瞳は、生き生きとしている。重症の心身障害があり、寝たきり。言葉も「ハ」しか持たないが、目には引き込まれそうな力がある。6歳から広島真中部の入所施設で暮らしている。

母親の真美さん(62)＝同県真中市＝は「『ハ』のニヒアンス、目つき、顔つき、アバウトな指さしを駆使して驚くほど自己主張する。親と施設の職員を手玉に取っている」と笑う。

海さんは難産の末に仮死状態で生まれた。「予断を許さない」と言われ続け、退院後も年に何度も命の危機があった。仕事との両立に悩んだ真美さんは、勇気を振り絞って市役所に相談の電話をしたが「普通はお母さんが面倒を見ます」と一蹴された。医療も福祉も、制度は母親が動かすに育てることを前提にしており、天職だと思いつめていた大学の専任講師を辞めざるを得なかった。

海さんが2歳の時から在宅での介護

# 豊かな生活を 模索続く

に専念した。だが病弱な命を一身に背負う緊張から睡眠不足が続き、「正しさ」を押しつける元教師の両親との関係は破綻。肉体的、精神的に限界に達した。「心が空っぽになった。あのままなら私か海のどちらか、あるいは両方が死んでいた」

「人間はそんなに強くないよ。みんな誰かの力を借りて生きている。僕たちに手伝わせてよ」。強引に海さんの施設入所を勧めたのは、主治医の斎藤俊秀さん(68)だ。

「この子には脳なんてないようなもんだ」と言い放つ医師もいる中、斎藤さんは真美さんの言葉に耳を傾けた。「海さんの意図をくむのが抜群にうまい。私は小児科の専門性はあるが、海さんに関する専門性は親の方が高いと教えてくれた」

真美さんは、信頼する医師の説得に、娘の入所を決めた。管理的な運営に怒り、施設側と衝突したこともあった。だが斎藤さんは「熱意で専門職の心を動かし、ぶつかりながら仲間を増やした」と話す。

た」と話す。親子で居場所をつくってきた。

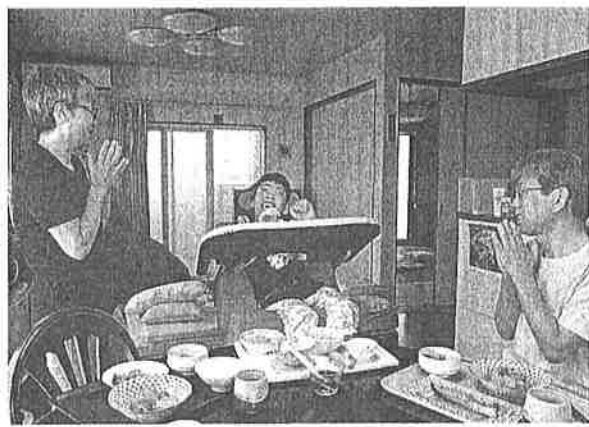
施設に入れざるを得なかった痛み、天職を失った悔い、老いの心配…。身の人間としての思いを抱えながら、今の暮らしを少しでも豊かにするため、の日常は続く。海さんは月に数回実家に帰省しており、記者は6月、食卓を共にした。

焼きサケに肉じゃが、焼きなすの手料理。飲み込む力が弱い海さんのためにあんをかけたたり、すりつぶしたり工夫を凝らしている。「食べる喜びを感じてほしい」と真美さん。夫の宏さん(63)は食後、布団に横になった海さんの隣に座り、手を握った。ふっと力が抜け、記者の来訪に興奮気味だった海さんがリラックスした様子になった。

海さんが生まれ、家族になった3人。穏やかな午後のリビングで言葉も少なく、時折まなざしを交わす。長い道のりを共に生き、今ここにいるという親子の中で、海さんは心地よさそうに瞳をしていた。

「おわり」

重症心身障害 重度の身体障害と知的障害が重複した状態。「全国重症心身障害児(者)を守る会」によると、全国に推定4万3千人。寝たきりの状態が多く、言語による意思伝達が困難という。肺炎などを起こしやすく、てんかん発作がある人が大半。医療の進歩で出生時のトラブルなどの救命率が高まったために増加していると考え、交通事故などの後遺症に起因する人も多い。



自宅で食卓を囲む(左から)児玉真美さん、海さん、宏さん。6月、広島真中市

## ⑦ 重症心身障害の子と生きる

社会プラス

暮らしのこだわりも詳しく

# 三鷹真牛身替舞台 忍びず

裁

し立てる方針。主任弁護士野嶋真人弁護士は東京都内で記者会見し「科学的な

両事件と並び、連合【に起きた旧国鉄に絡5日夜、東京都内の三駅にいた6人が死亡、捜査当局は旧国鉄の人の組織的犯行とみ審判決は、党員でな単独犯行として無期員9人は無罪とした



食卓後に詰ま大坂府守口市

疑いは生じない

確定判決

刑囚を見た

信用性を否定

の再現実験に

自の前提で実

しがたい」と

証拠も「無罪

べき明らかな

疑いは生じない

けた。

第33回

進学の指針  
ご来場くだ

会期 8月1日(日)～1日(日)

会場 みやこ3展示場(会費)

内容 個別

入試担当者が

問に応じます

コーナー最

ンフレットを

参加中学

京都学園、京

際、京都産業

女子、京都

母学院、京都

同志社、同志

女子、ノートル

花園、東山、マ

星、洛南高校

立命館大学、

車両検査の時

が入っていた

ると指摘。

さらに、現

刑囚を見た

信用性を否定

の再現実験に

自の前提で実

しがたい」と

証拠も「無罪

べき明らかな

疑いは生じない